

学校教育目標

みんながすき、学校がすき、ふるさとがすき

目指す児童の姿

**友だちとかかわりながら、
楽しく自ら学ぶことのできる子ども**

研究主題

**楽しく自ら学ぶ子を育てる
—かかわり合う、学び合うことを通して—**

高めたい児童の内面と力

受容感

有能感

自己決定感

かかわる力

深める力

授業づくり

教材

学習環境

かかわり

授業

振り返り

日常指導

**標準学
力調査**

Q-U

基礎学力

仲間づくり



資料2 学びのスタンダードにそった展開例

5 本時の学習				
学習活動	予想される児童同士のかかわり	活動形態	・留意点 (下線は教師の発話) ※手立て ☆評価	
1 前時の学習をふりかえる。		一斉	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作った短冊を黒板に張りながら振り返るようにする。 	
2 本時の課題をつかむ。				
賢治の一生の中で、一番幸せだった時期はいつか考えよう				
3 年表を基に一番幸せだった時期を考える。 ・一番幸せだった時期を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、ノートに書いている。 	個人	<ul style="list-style-type: none"> 一番幸せだった時期はいつか決めたところに名前マグネットを貼ることを指示する。 一番幸せだった時期を探せていない児童には、黒板に貼ってある他の児童の意見を参考にして良いことを伝える。 児童が持ってきた意見に対し全て受容する。 1グループ原則4人にする。 意見によっては、1人になる可能性もある。そのような児童には、「1人だけどしっかりね」と言葉をかける。 	
・同じ考えの児童同士で理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを相手に分かるように伝えている。 相手の意見を聞き、分からないことを質問したりして相手の考えを理解しようとしている。 	班	<ul style="list-style-type: none"> 話し合っている児童の言葉を修復したり繰り返したりしながらかかわり合い、学び合いの喚起を促すことに努める。 賢治の行動や出来事など文中の言葉を基に理由を考えるように促す。 	
4 理由を発表する。		一斉	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったことに対する自分の考えが伝わるように話すことを意識させる。 発言した児童には、自ら発言したことについて「受容」や「動機付け」を行いたい。 	
5 賢治の一生を賢治の理想や願いを観点にしてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 学び合ったことを基にもう一度自分の考えを見直している。 		<ul style="list-style-type: none"> ※賢治の理想や願いが多く実現している年代に着目させる。 全体での話し合いを基に、もう一度賢治が一番幸せだった時期はどこか検討させる。 ☆賢治の行動に表れている願いや理想などから賢治の一生の中で一番幸せだった時期を捉えている。(イー⑥) 	

